

吾館もなく衣川は任一々々や厨川は尚
平麻郡令沢はあり續太平記十の巻任吉
寢足初任は天嘉祿二巻を引て出羽國厨
川の柵よりて貞任宗任を撃平くとあり
出羽國とあれば令沢の厨川を指さるゝ
彼地は義家朝臣の陣所あり八幡を多
槍を邦系政の禮方刀亦あり要一と事ハ
平麻郡の下に注を義經記にも粟屋川の元
邦貞任とあり和漢合運より安倍貞任高
宗任とあり宗任は館も南に多海山の林

はありて源義家八幡の神ありて元後を
られ八幡を邦と名のしれりや山上
多の海に上は弘之邦石といふありけ人カと
ありと云傳へたり弘之邦といふ宗
任の事よりて古人言より槍を邦系政を
海弘之邦よりを服は討たれ一と云
事古俗の古儀なり陸奥任記は多海柵と
ありをノの字を付て多海の柵と讀む
は彼地の地名と見る人もあるや又りの
字を付て多海が柵とよめば人の名となり